

「福音の真理」を伝える 伝道者を、いまの世に



東京神学大学開校までの歩み



東京神学社の学生と教師

- | | |
|-------------|--|
| 1859(安政6)年 | プロテスタント諸教会の宣教師たちが日本で宣教を開始。 |
| 1872(明治5)年 | 横浜に最初の教会「日本基督公会」が設立された。 |
| 1873(明治6)年 | 宣教師のS.ブラウンが横浜に最初の神学塾「ブラウン塾」を開講。1877年「東京一致神学校」(のちの明治学院)開校。 |
| 1904(明治37)年 | 「東京神学社」が牧師・植村正久によって設立される。 |
| 1930(昭和5)年 | 本学の前身となる「日本神学校」が設立され、「明治学院神学部」はここに合流する。 |
| 1941(昭和16)年 | プロテスタント諸教派の合同教団として日本基督教団が設立される。 |
| 1943(昭和18)年 | 教派ごとに分かれていた神学校が「日本東部神学校」「日本西部神学校」「日本女子神学校」の3校に統合され、さらに1944(昭和19)年、この3校が合流して「日本基督教神学専門学校」となる。 |
| 1945(昭和20)年 | 敗戦 |
| 1949(昭和24)年 | 日本基督教団立の伝道者養成機関として新制大学「東京神学大学」を開校。 |